

2025 年
九州自転車競技選手権大会
トラックレース

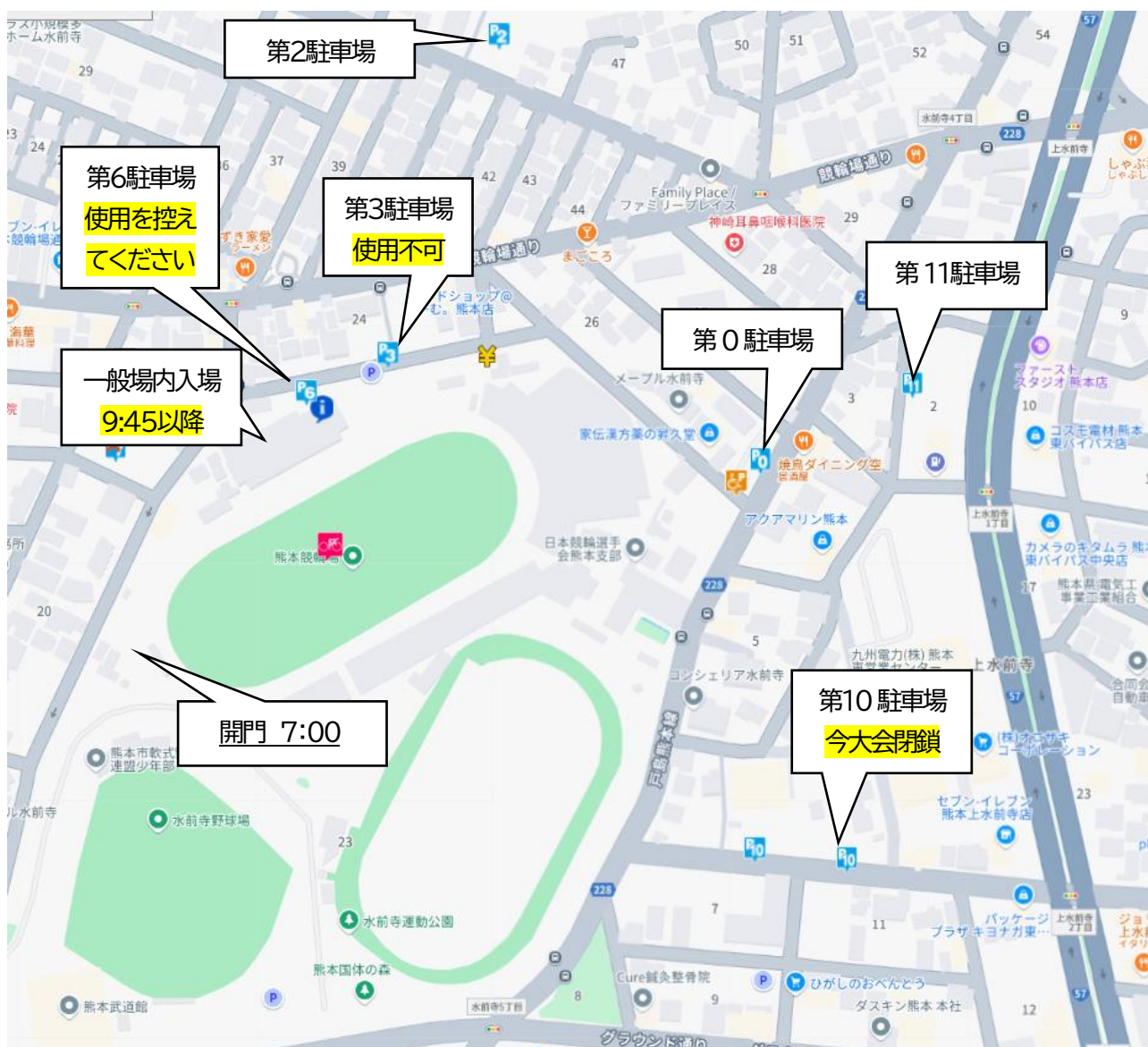
<テクニカルガイド>



2025-0710

1 会場

熊本競輪場 〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺 5 丁目 23-1



2 日程

競技日程のとおりに

3 受付

(1) 選手・監督受付

2025 年有効のライセンスを持参し、チーム毎に提出すること。不携帯の際は参加料の 50%徴収する。

(2) 配付物

駐車証	各チーム事前申告枚数
選手・監督 AD カード	選手 1 名につき 1 枚 + 引率者 1 名につき 1 枚
ゼッケン	2 枚 + 安全ピン

(3) 選手変更・欠場申請、引率責任者・監督・チームサポート変更申請、プログラム記載事項訂正申請、その他申請については、受付時に書面で提出すること。

4 監督ミーティング

2025 年 7 月 12 日(土) 8:00～8:15 熊本競輪場管理棟

5 開会式・閉会式

開会式・閉会式は実施しない。

6 表彰式

- (1) トラック競技 全レース終了後を予定しているが、天候並びに会場の使用時間の都合により、大会本部にて手渡しの場合もある。
- (2) 表彰を受ける選手は 5 分前には集合・待機し、係の誘導・指示に従うこと。
1～3 位（賞状 6 位）まで表彰とする。
- (3) 服装は、原則「登録されたユニフォーム」とする。

7 トラック会場（熊本競輪場）

- (1) 選手・役員駐車場の利用について

7/12 (土)	7:00～18:00	場内駐車場	夜間留め置く場合は総務委員長に申告
7/13 (日)	7:00～18:00	場内駐車場	

場内駐車場への乗り入れ・駐停車は、予め指定を受けて駐車証が発行される者に限定する。

駐車証がない車両の乗り入れは禁止。野球場、陸上競技場等の駐車場の使用できない。

- (2) 荷物の積み降ろしについて

認められたチーム関係者車両（駐車証発行）は場内駐車場にて積み下ろし、積み込み可能。

管理棟前ウォークトップ部分（管理棟前の青コーンから先）は車輛進入厳禁です。

- (3) 熊本競輪場の施設・敷地内利用について

- ①大会期間中は、場外発売が行われているため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。

※場内駐車場からメインスタンド側への通行はできませんのでご注意ください。

メインスタンドへ入る場合は、正門より入場ください。

- ②発電機の使用は認めるが、周囲への注意を払うこと。出来る限り屋外で使用すること。

- ③女子の更衣については、自転車競技練習棟更衣室を利用してください。

- ④競輪場内に張り出すチーム応援横断幕等は、2 コーナーのフェンス外側に限定する。

- ⑤場内、検車場内に設置されているゴミ箱は使用しないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。

- ⑥自転車競技場ローラー場の使用は認めるが管理棟 1F にあるローラー場の利用は厳禁とする。

- ⑦フィールド内でのローラーの使用は競技運営の支障をきたすおそれがあるため禁止する。

- ⑧選手ピットは管理棟 1F とし、区割りは行わないので関係チームで協力しながら使用すること。

- ⑨自転車整備(チェーンオイル塗布含む)は屋外でおこなうこととし、オイルはしっかり拭き取ること。

- ⑩管理棟前道路は緊急車輛通行のため空けておくこと。

- (4) 自転車の保管について（ 17 日:7:30-18:00 18 日:7:30-17:00 ）

自転車の保管については、検車場(管理棟 1F)を開放するが、紛失、破損、事故等の責任は負わない。

7/11(金)	16:00～18:00
7/12(土)	07:00～18:00
7/13(日)	07:00～18:00

備え付けの消耗品（ペーパータオル等）、備品等には一切手を触れないこと。また、ごみ等も必ず持ち帰ること。

(5) 指定練習について

- ①競技日程記載の通り。また、7/13(日)は中学生のみとする
- ②チーム関係者が選手の安全管理に責任をもって行うこと。
- ③入退場は敢闘門に限定する。役員の指示に従って移動し、乗車せずに走路に入る際はアップシューズとする。

(6) 接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、主催者は賠償等の責任は負わない。

8 AD カード

今大会に参加する役員、選手ほか関係者は、常時 AD カードを身に付けなければならない。競輪場通用門より規制エリアとする。大会終了時に返却をすること。

AD カードは、予め登録された、競技役員、監督、選手のみ。

9 宿泊・弁当 関係

- (1) 貴重品管理は各チーム（各自）の責任とする。
- (2) 宿舍内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。宿舍から注意事項がある際は遵守のこと。
- (3) 宿舍内は、レーサースーツでの歩行は禁止する。
- (4) ホテル内では常に整理整頓を心掛け、自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。
- (5) 宿泊施設により、駐車場代が発生する場合がある。
- (6) 変更等がある際は、エージェントに必ず連絡すること。大会期間中は、大会本部へ変更内容を連絡すること。

11 交通規則の遵守について

所在地から会場への移動、宿舍と会場間の往復等は、常に交通規則を遵守するとともに、ロードバイクで移動する際は、ヘルメットの着用を義務付ける。監督、チーム関係者は責任を持って指導すること。

12 その他

- (1) 観戦はメインスタンドの観覧席をご利用してください。なお、競輪場の営業時間に合わせたの利用となります。場外発売があるので一般のお客様と同様の入場となります。

熊本競輪場の営業時間

開場 9:45 退場 16:30 場外発売終了時間 となるので注意すること。

選手エリアへの一時的な入場は、大会本部が認めた場合を除きできない。

- (2) 競輪お客様の駐車場について

競輪のお客様と同様の使用時間です。使用不可の駐車場への進入や問い合わせをしないこと。

- (3) 大会についての問い合わせ先

大会前・期間中：問合者(本人・保護者) → 各チーム代表者(監督) → 連盟事務局（中田)とする。

熊本競輪場への直接の問い合わせはご遠慮願います。各チーム代表者は関係者へ周知すること。

1 大会名 2025 年九州自転車競技選手権 トラックレース

JCF 競技規則最新版及び UCI 競技規則最新版、実施要項、および本大会特別規則により実施する。本大会の特別規則はこの大会のためだけの特別規則であり、他の競技大会での適用や、先例となるものではない。

2 競技日程

2025 年 7 月 12 日（土）より、2 日間のトラックレースとする。

3 大会本部

熊本競輪場管理棟

4 大会役員・コミッセルパネル（○）

競技運営委員長	中田 将次	（一社）熊本県自転車競技連盟 理事長
総務委員長	松下 健一	（一社）熊本県自転車競技連盟 事務局
○審判長	塚原 健治	（一社）熊本県自転車競技連盟
○副審判長	平田 崇昭	福岡県自転車競技連盟 理事長
○副審判長	河寄 直之	鹿児島県自転車競技連盟
○スターター	伊木 健治	（一社）熊本県自転車競技連盟
○セクレタリ	江藤 純	（一社）熊本県自転車競技連盟

5 参加資格

実施要項 4 参加資格、8 参加制限による。

6 参加申込

実施要項 10 参加申込による。

7 競技者（監督）受付・登録

実施要項、競技日程の時間内に、ライセンスコントロールをチーム単位で受けること。

2025 年有効のライセンスを確認した後、AD カード、ゼッケンを配布する。

8 実施種目

実施要項 6 実施種目に準ずる。

9 使用機材

公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則及び UCI 競技規則最新版に準ずる。

① ヘルメット

JCF 公認ヘルメット、もしくは JKA 認定品（競輪用）とする。エアロヘルメットは T T 系種目のみ使用可能（競走系種目、練習では使用不可）破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。

トラックの競走系種目で使用するヘルメットは NO キャップが装着できるヘルメットとする。

② 自転車

チーム（競技者・監督・メカニシャン）の責任で競技規則 規定内に調整の上、参加のこと。

競技規則の例外適用（身体形態上の理由）の申請は、トラック競技 1 日目の競技開始 1 時間前までとする。

申請は、競技者が使用する自転車と共に審判長まで申し出ること。（書類は不要）

10 ユニフォーム（ジャージ・パンツ）

所属するチームの登録されたユニフォームを着用すること。登録されたチームのユニフォームの着用を原則とする。やむを得ず、登録外ユニフォームを着用する際は、監督会議で承認を受けること。

11 賞典

実施要項 17 表彰により行う。競技規則第 26 章

表彰対象者は、登録ユニフォームで出席すること。

12 救急措置（医務救護体制）

期間中はドクター 1 名、看護師 1 名は常駐する。

競技中の負傷疾病について、現場における応急措置を用意するが、以後の措置については参加者自身の責任によって行うこと。

大会本部に医療・救護所を設置する。参加者は健康保険証を必ず持参すること。

参加者は各自でスポーツ安全協会等の保険に加入すること。

近隣医療機関	熊本赤十字病院	〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1番1号 TEL.096-384-2111(代)
--------	---------	---

1.3 招集

管理棟出入口付近に設ける。各競技者の出走予定時刻 15 分前までとする。

1.4 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行は、アナウンスにより行う。また、コミュニケ等の配信については、紙媒体での配布は行わず、県連盟 X にておこなう。

1.5 個人情報の取り扱い

選手、応援者及び競技役員等の大会参加者の個人情報（画像、映像、音声データ等）については、本大会に帰属するとともに、大会の普及活動に利用する以外の目的に利用することはない。競技場内での撮影は本部より認められた者以外は認めない。

■ 大会特別規則 <トラックレース>

TR1 全般

競技規則を熟読し遵守すること。

TR2 1km タイムトライアル

400m のトラック 2.5 周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から 2 選手同時発進で行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

ホーム、バック同時スタートにて実施（プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと）

フライングがあった選手のみ次の組で再発進、該当しない選手はそのまま続行とする。2 回目は失格とする。

TR3 インディヴィデュアル・パーシュート（3km）

400m のトラック 7.5 周で行う。2km は 5 周（中学生）

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

TR4 スプリント

予選 200m フライング・タイムトライアルは電子計時とする。

予選 200m フライング・タイムトライアルは 2 周 800m を走行するうちの最後の 200m を計測する。

スタートはブルーバンドより、前競技者が 1 周回通過後に次走選手がスタートする。

予選上位 16 名による 1/8 決勝からトーナメントを開始する。

予選 → 1/8 決勝（1 回戦）→ 1/4 決勝（1 回戦）→ 1/2 決勝（1 回戦）→ 3-4 位決定戦／決勝／5-8 位決定戦。

3-4 位決定戦 1 本勝負、決勝のみ 3 回戦とする。女子は 1/2 決勝より行う。

TR6 チーム・パーシュート

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

ホルダーは各チームで対応。（不足時は競技役員で対応）

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

TR7 チーム・スプリント

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

ホルダーは各チームで対応。(不足時は競技役員で対応)

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

TR8 ポイント・レース

予選は 12km で実施する。決勝は 20km にて行う。ポイント周回は 5 周毎とする。

ニュートラゼーションは 3 周回 (1,250m に近い距離) とする。

ニュートラゼーションの復帰が最後の 1km 以内となり競技に戻れない時、または最終 5 周回以内の認められた事故のとき、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

最終ポイントは倍点 (10 点、6 点、4 点、2 点)

周回 ラップ：追いつき時：+20 点、追いつかれ時：-20 点 (メイン集団を基準)

除外：周回遅れで、競走に支障がある時 (入賞の可能性がない等含む) はレースより除外する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1 番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

TR9 ケイリン

1 回戦 → 1 回戦敗者復活戦 → 1/4 決勝 → 順位決定戦

1 回戦 → 上位 2 名が 1/4 決勝、1 回戦敗者復活戦 → 上位 1 名が 1/4 決勝へ。1/4 決勝 → 上位 3 名が 1/2 決勝へ
女子は 1/2 決勝より開始する。

400m のトラック 4 周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなくてはならない。すみやかに追走しない際は、その競技者を除外し、再スタートする。

ペーサーはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、フィニッシュ 2.0 周前の測定線 (200m) を過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に 50 km/h まで加速する。

ペーサーは残り 800m (中央線) で離脱する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーが中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後 半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

コンタクトプレー等については、厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダーについては、同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。

TR10 スクラッチレース

予選は 6km、決勝は 8 km (20 周) で実施する。中学生は 4 km。

周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラゼーションは 3 周回 (1,250m に近い距離)、最後の 1km は競技に戻ることは出来ない。

最後の 1km で競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1 番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

TR11 4km 速度競走

予選2組で実施し、上位5名が決勝へ。

先頭責任数不足で合計が同数のとき、H/B 均等取得者を優位とする。

ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。